

## 【ポスター発表】

認知症高齢者支援における福祉・医療専門職研修へのバリデーション導入の効果  
(その3)

## —認知症高齢者の欲求と感情に対する信念に着目して—

○ 関西福祉科学大学 米澤 美保子 (7409)

家高 将明 (関西福祉科学大学・7811)、成清 敦子 (関西福祉科学大学・3384)、

都村 尚子 (関西福祉科学大学・3861)

キーワード：バリデーション、認知症高齢者、職員研修

## 1. 研究目的

総務省「平成25年4月報」によると、2013年4月の概算値では日本の高齢化率は過去最高の24.7%である。また、認知症高齢者数は2012年では280万人、2025年には470万人に達すると将来推計を厚生労働省は発表している。このように増加の一途を辿る認知症高齢者への支援は高齢者福祉分野における最重要課題の一つとして捉えられており、「社会保障・税一体改革大綱」(2012年2月17日発表)においても重点課題として位置づけられている。

ところが、高齢者福祉の現場では、認知症高齢者とのコミュニケーションが充分にはかれないことから、認知症高齢者と支援者の双方のQOLの悪化が引き起こされている。このことを解決するためには、認知症高齢者の思いをより正確に理解するためのコミュニケーション法である「バリデーション」の活用が有効であると期待される。しかしながら、バリデーションの効果に関する実践的研究は数点報告されるに留まっており、認知症高齢者への有用性やその介護者側の影響に関する効果を明らかにしてエビデンスを蓄積していく必要があると考える。

そこで本研究では、認知症高齢者の支援者、なかでも福祉・医療専門職におけるバリデーションの効果、認知症高齢者の欲求と感情に対する信念(以下 欲求感情信念とする)に着目して、バリデーション研修(以下 研修とする)前後の認知症高齢者に関する理解の変化から明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究の視点および方法

本研究では、保健医療福祉機関・施設の福祉・医療専門職を対象とした研修に参加した327名に対して、研修の前後で自記式による質問紙調査を実施した。質問紙記入は研修が行われる会場で実施し、その場で回収を行った。研修の開催地と開催日、参加人数はそれぞれ、兵庫県但馬地区2012年8月～9月99名、鳥取県2012年11月22名、京都府丹波市2012年11月206名である。

質問紙の設問は「属性」7問、「認知症高齢者理解(欲求感情信念6問、認知症高齢者支

援に関するストレス 6 問)」12 問、「福祉・医療専門職の自分自身の仕事に対する思い」3 問の全 22 問である。属性意外の設問は 5 件法による回答である。本研究では、「認知症高齢者理解」における欲求感情信念に着目する。欲求感情信念は、宇良(1998)による下位尺度を用い、「全くそう思わない」から「その通りだと思う」の 5 件法による回答形式を採った。なお、本研究は関西福祉科学大学共同研究助成を受けて実施した。

### 3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の倫理規定に基づいた倫理的配慮を実施した。本研究は、関西福祉科学大学倫理審査委員会の承認を得た。

### 4. 研究結果

欲求感情信念の研修前後のそれぞれの平均値に差がみられるかについて、t 検定を実施した。結果は、1%水準で有意差がみられ( $t(296)=15.255, p<.01$ )、研修後の平均値が高かった。

欲求感情信念の研修後の平均値から研修前の平均値を引いた値を従属変数、「性別」、「年齢」、「雇用形態(正規・非正規)」、「経験年数」、「保有資格(なし・福祉系・医療系)」を独立変数として重回帰分析を行った。分析の結果は、性別( $\beta = -.08, n.s.$ )、年齢( $\beta = -.037, n.s.$ )、雇用形態( $\beta = .046, n.s.$ )、経験年数( $\beta = -.101, n.s.$ )、保有資格( $\beta = -.086, n.s.$ )といずれも有意な効果はみられなかった。

### 5. 考察

福祉・医療専門職が認知症高齢者には欲求や感情が存在するということを認める欲求感情信念において、バリデーシンの効果が一定程度存在ということが明らかになった。

しかし、欲求感情信念へのバリデーシンの効果に影響を及ぼす可能性のある因子を特定することができなかった。

超高齢社会である我が国において、福祉・医療専門職の認知症高齢者に関する理解はある一定水準にあるのではないかと考えられる。本研究の調査対象者においては、研修前の平均値が 4.2 と高いことから、認知症高齢者についてはある程度既に理解している(あるいはなんとなくそう思っている)のではないかと考えられる。そして、研修を受けてその理解が確証に変化(平均値 4.66)したのではないだろうか。

今回、バリデーシンの効果に影響を及ぼす要因を明らかにすることができなかったことから、今後はさらに分析をすすめその要因を探っていきたい。

#### 【引用文献】

宇良千秋,1998「老人ケアスタッフの仕事の魅力に対する介護信念と仕事のコントロールの影響」『老年社会科学』20(2):143-151.